

議 事 要 旨

名 称	令和3年度 第2回中小企業振興円卓会議	
開催日時	令和3年11月18日(木) 10:30~12:00	
開催場所	KH三番町プレイスビル 3階第1会議室	
委 員	出 席	<p>愛媛大学 法文学部 教授 和田 寿博 (座長)</p> <p>公益社団法人松山法人会 業務指導員 淵上 悟 (副座長)</p> <p>松山商工会議所 地域振興部地域振興課 課長 戸嶋 祐介</p> <p>北条商工会 経営指導員 椋名 克明</p> <p>中島商工会 事務局長 坂東 健吾</p> <p>愛媛県中小企業団体中央会 振興部 部長 井上 和也</p> <p>松山短期大学 教授 黒田 明良</p> <p>愛媛県中小企業家同友会 理事 中 周作</p> <p>公益財団法人えひめ産業振興財団 事業支援課 課長 篠宮 美紀</p> <p>株式会社日本政策金融公庫 松山支店 融資第二課 課長 山本 啓太</p> <p>株式会社伊予銀行 地域創生部 課長 兒玉 洋平</p> <p>株式会社愛媛銀行 公務ふるさと振興部 部長 岡田 温仁</p> <p>愛媛信用金庫 地域事業振興部 部長 木内 清</p> <p>特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ 代表理事 堀田 真奈</p>
	欠 席	<p>愛媛大学 社会連携推進機構 教授 前田 眞</p> <p>愛媛県若年者就職支援センター (ジョブカフェ愛work) リーダー 寺尾 真奈美</p> <p>愛媛県経済同友会 事務局長 川平 明生</p>
事 務 局	<p>松山市産業経済部 地域経済課 課長 丹生谷 英司</p> <p>松山市産業経済部 地域経済課 中小企業応援・雇用担当課長 今村 雅臣 他</p>	

議事内容

1. 開 会

2. 令和3年度専門部会活動について（中間報告）

- 各専門部会長が今年度の活動について報告を行った。（資料1-1～1-5）
- 委員から、働き方改革を推進していくにあたって就業規則が重要である旨の意見があった。社員が働く環境を理解するためのツールであり、整備されていないと離職率も高い傾向にあるため、経営者がしっかりと関わるべきである、等の意見が挙げられた。
- また、DX推進の重要性に関する意見が多く挙げられた。単にデジタル化すればいい、ということではなく企業の変革に関わることなので、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え中小企業が前向きに取り組めるよう、土壌作りが重要、等の意見が挙げられた。

3. 令和4年度専門部会活動提案について

- 各専門部会長が来年度の活動について新しい提案を行った。（資料2-1～2-3）
- 委員から、各専門部会の新たな取組みについての質問があった。
- また、中小企業が抱える課題として、コロナ禍における採用活動が挙げられた。学生はオンラインやデジタル慣れしている一方、採用する企業側にその知識や準備が足りていない点が課題である。
- さらに、転居者や移住者の仕事づくり、コミュニティづくりに関する意見があった。働く意欲のある方が、そのスキルを発揮できる場を持つこと、あるいはそれに繋がるコミュニティがあることは移住のチャンスとなる、等の意見が挙げられた。

4. その他

- 「若者（特に学生）の就職観について」をテーマに、意見交換を行った。
- 就職活動は確実に変化している。求人サイトも登録型からオファー型へとシフトしている。企業側も対応していかなければいけない。
- 地元志向の高まりも見られる。また、地方での就職希望割合が上昇しているデータもあり、コロナ禍において地方の中小企業には人手不足解消のチャンスがあるといえる。

5. 閉 会

